

宇 都 宮 市

バ ラ ン ス シ ー ト  
行 政 コ ス ト 計 算 書

【平成16年3月31日現在】

宇 都 宮 市  
平 成 17 年 3 月

# も く じ

<b>. バランスシート・行政コスト計算書について</b>		
1. バランスシートとは	.....	1
2. 行政コスト計算書とは	.....	1
3. バランスシート・行政コスト計算書作成の背景	.....	1
<b>. 宇都宮市のバランスシート</b>		
1. 宇都宮市のバランスシート	.....	4
2. バランスシート作成基準	.....	6
3. バランスシートの説明	.....	7
4. 前年度バランスシートとの比較	.....	8
5. 市民1人あたりのバランスシート	.....	10
6. バランスシートの比較分析	.....	11
7. 市全体のバランスシート	.....	13
<b>. 宇都宮市の行政コスト計算書</b>		
1. 宇都宮市の行政コスト計算書	.....	16
2. 行政コスト計算書作成基準	.....	18
3. 行政コスト計算書の説明	.....	18
4. 前年度行政コスト計算書との比較	.....	21
5. 市民1人あたりの行政コスト計算書	.....	22
6. 行政コスト計算書の比較分析	.....	23
<b>. 施設ごとのバランスシート・行政コスト計算書(モデル)</b>		
	.....	25
参考資料1 主な施設の資産状況	.....	31
参考資料2 市全体のバランスシート(詳細版)	.....	32
参考資料3 宇都宮市の行政コスト計算書(詳細版)	.....	34

# 1. バランスシート・行政コスト計算書について

## 1. バランスシートとは

バランスシートとは、宇都宮市が持っている土地や建物などの財産(資産)と、その財産を持つために使ったお金の調達方法(負債・正味資産)との年度末時点の残高を左右に並べたものです。左と右それぞれの合計額が常に同額でバランスが取れていることから、この名で呼ばれます。

左(借方)と右(貸方)に対照して表示していることから「貸借対照表」とも呼ばれます。

「どのような財産がどれくらいあるの？」 バランスシートの左側(借方)の「資産の部」をご覧ください。  
「借りているお金はどれくらいあるの？」 バランスシートの右側(貸方)をご覧ください。  
借りているお金なら「負債の部」、自己資金なら「正味資産の部」に書いてあります。

このように、宇都宮市が築いてきた財産と、お金の調達の様子が良く分かります。そのため、  
「この1年間、どんな分野に力をいれて、その成果としてどんな財産が出来たのかな？」  
と、前の年と比較してみたり(8ページ)、

「便利だったり、楽しい施設はあるけれど、お金は借りすぎではない？」

子供たちへの負担はどれくらい？」

と、土地・建物・設備などと借りたお金を比較してみたり(11ページ)するなど、  
宇都宮市の現状を、さらに検討することもできます。

## 2. 行政コスト計算書とは

行政コスト計算書とは、バランスシートに書かれていない、人的サービスや給付サービスなどの行政サービスにかかった経費(コスト)と、そのお金の出どころ(収入)を、1年間の総額で示したものです。一般の企業における「損益計算書」に相当します。

「お金がかかる？どんな経費があるの？」 行政コスト計算書の「行政コスト」をご覧ください。  
「お金の出どころの内訳は？」 行政コスト計算書の「収入項目」をご覧ください。

そして、それらのコストや収入を、目的別や性質別に見ることで、  
「私たちが受けているそれぞれのサービスには、どんな経費がかかっているの？」

どんなお金でまかなっているの？」

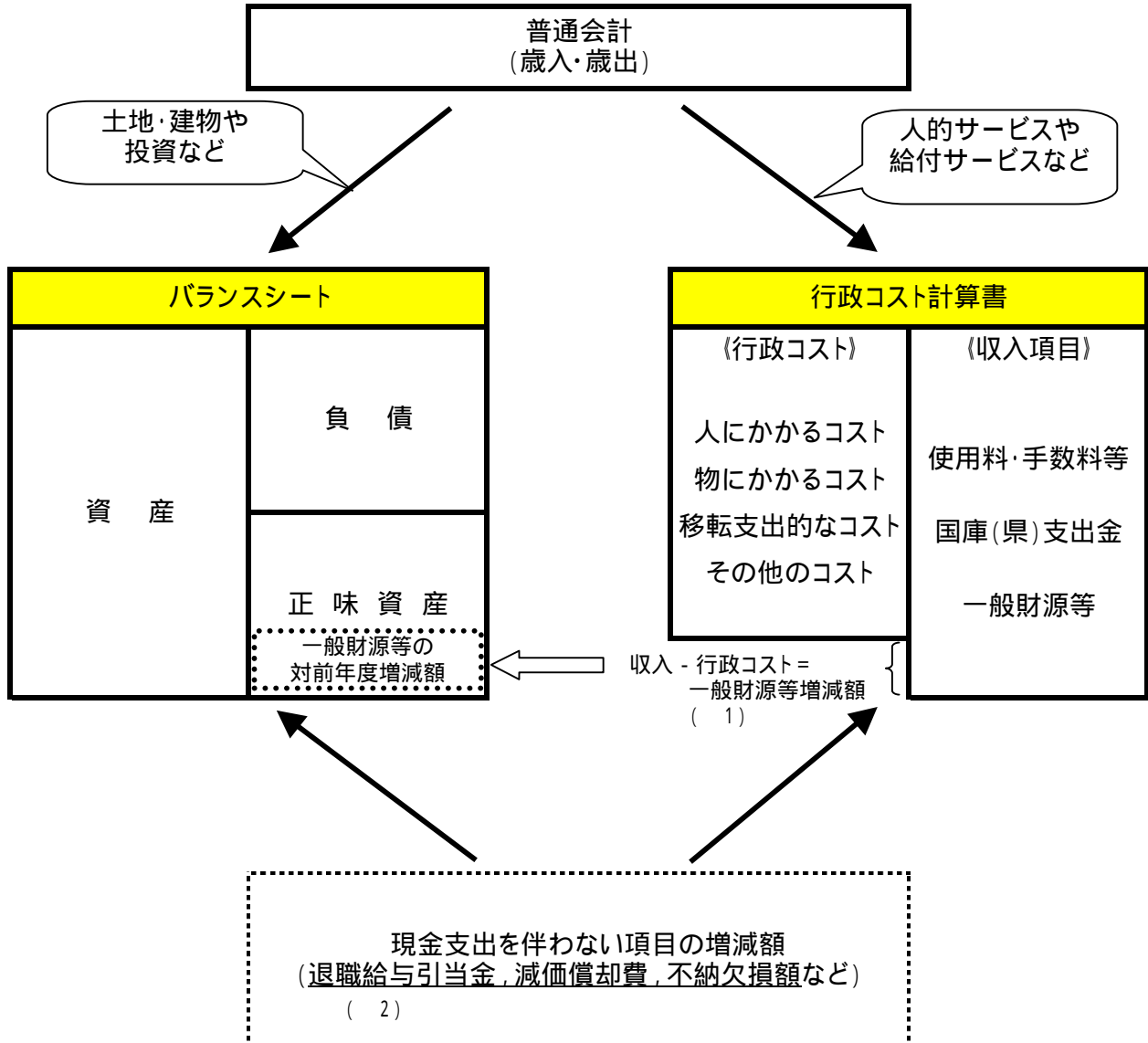
と、身近に受けているサービスの経費の仕組みが分かったり(19ページ)、  
その経費がどのような収入でまかなわれているのか(20ページ)など、  
宇都宮市の資金のやり繰りなどを考えることもできます。

## 3. バランスシート・行政コスト計算書作成の背景

現在、市が採用している公会計は、現金の出入(フロー情報)に着目した「現金主義」を基本としています。しかし、この会計制度には、蓄積された資産や負債のストック情報や、行政サービスに要したコスト情報を把握しにくいなどの問題点があり、最近では「発生主義」を基本とする企業会計の手法を導入する動きが広がっています。

そこで宇都宮市では、より効率的な財政運営を目指すため、総務省が示した統一的な作成指針に基づいて、バランスシートと行政コスト計算書を作成しています。

【バランスシートと行政コスト計算書の関係】



( 1 )  
一般財源等増減額

収入から行政コストを差し引いた額が、当年度と前年度の差引一般財源等の増減額となり、この部分でバランスシートと行政コスト計算書が結びつきます。この部分は、民間会社の損益計算書における、収益から費用を差し引いた利益(損失)に相当するものです。この増減額がプラスの場合は、期末の一般財源等が増えるため、次年度へ引き継ぐ資源が増加したことを意味し、逆にマイナスの場合は、これまで引き継いできた資源を減少させたこととなります。

( 2 )  
退職給与引当金

年度末に市職員全員が退職すると仮定した場合に支払われる退職金の額

減価償却費

建物や道路などの有形固定資産(土地を除く)に関して、時間の経過による価値の減少分を費用計上した額

不納欠損額

市税や使用料などの未収金で、徴収できなかったもの


< バランスシートの概略図 >

借 方		貸 方			
資 産	有形固定資産	1年を超えて所有する土地, 建物など	負 債	固定負債	1年を超える返済期間のある地方債, 翌年度以降の支払が確定している債務負担行為, 退職給与引当金など
	投資等	1年を超えて所有する出資金, 1年を超える貸付期間のある貸付金など		流動負債	1年以内に返済する地方債など
	流動資産	流動性の高い現金や市税等の未収金	正味資産	国庫支出金	資産形成のために国から収入した補助金等
		県支出金		資産形成のために県から収入した補助金等	
		一般財源等		資産形成の財源として充当した市税等	

$$\text{資産額} = \text{負債額} + \text{正味資産額}$$

< 行政コスト計算書の概略図 >

行政コスト		収 入	
人にかかるコスト	職員に要する費用	使用料・手数料等	使用料・手数料, 分担金・負担金, 財産収入など
物にかかるコスト	消耗品費や委託料, 修繕料など, 市が最終消費者となっている費用		
移転支的コスト	扶助費や繰出金など, 他に移転して効果が出てくる費用	国庫(県)支出金	資産形成につながるもの以外の国庫(県)支出金
その他のコスト	上記以外の費用	一般財源	市税や各種交付金


  
**収入 - 行政コスト = バランスシートの  
対前年一般財源等増減額**

# 宇都宮市のバランスシート

## 1. 宇都宮市のバランスシート

### 宇都宮市のバランスシート

**[資産]**  
行政活動の結果として形成されたもので、住民サービスを行うために必要とされる経営資源です。「有形固定資産」「投資等」「流動資産」の3つに区分されます。

**[有形固定資産]**  
住民サービスを行うために必要な物質的な資産で、建物、道路、公園といった不動産及び車両、高額備品等の動産です。行政目的別に区分して表示しています。

**[投資等]**  
公営企業や外郭団体等への出資金、第三者への貸付金残高、特定の目的に使用するために積み立てられている基金の残高です。

地方公営企業・財団法人・公社等への出資があります。

施設整備や土地の取得など、特定の目的のために維持・積み立て・運用している資金です。

**[流動資産]**  
現金・預金や、市税等の未収金を言います。年度間の財源調整に用いられる財政調整基金、市債の償還に用いられる減債基金は、流動性が高いことから、この中に含めて計上しています。

借 方 (資金の使いみちを表しています)	
<b>[資産の部]</b>	
<b>1. 有形固定資産</b>	
(1) 総務費 市役所庁舎、地区市民センター、文化会館など	40,117
(2) 民生費 保育園、老人福祉センター、総合福祉センターなど	10,356
(3) 衛生費 保健所、保健センター、斎場、清掃工場など	54,059
(4) 労働費 勤労青少年ホームなど	295
(5) 農林水産業費 ほ場整備、農道、林道、農林公園、森林公園など	16,565
(6) 商工費 起業家育成支援施設、観光地駐車場など	699
(7) 土木費 道路、街路、河川、公園、土地区画整理、市営住宅など	339,579
(8) 消防費 消防庁舎、消防分団詰所など	9,177
(9) 教育費 小中学校、公民館、美術館、図書館、体育館など	137,115
(10) その他	9,218
<b>有形固定資産計</b>	<b>617,180</b>
(うち土地)	237,036
<b>2. 投資等</b>	
(1) 投資及び出資金 下水道事業会計出資金、大谷地域整備公社等への出資金など	11,524
(2) 貸付金 奨学資金、母子寡婦福祉資金などの貸付金	1,919
(3) 基金 特定目的基金 土地開発基金 定額運用基金	12,480 9,730 2,244 506
<b>投資等計</b>	<b>25,923</b>
<b>3. 流動資産</b>	
(1) 現金・預金 財政調整基金 減債基金 歳計現金	20,639 7,760 5,130 7,749
(2) 未収金 地方税 その他	8,183 6,172 2,011
<b>流動資産計</b>	<b>28,822</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>671,925</b>

(平成16年3月31日現在)

(単位:百万円)

貸 方 (資金の調達方法を表しています)	
<b>[負債の部]</b>	
1. 固定負債	
(1) 地方債	121,830
市債残高のうち翌年度償還予定額を除いたもの	
(2) 債務負担行為	3,478
物件の引渡しを受けたものに対する支払予定額など	
物件の購入等	3,478
債務保証又は損失補償	0
(3) 退職給与引当金	35,240
年度末に職員全員が退職した場合の退職金要支給額	
<b>固定負債計</b>	<b>160,548</b>
2. 流動負債	
(1) 翌年度償還予定額	20,790
市債残高のうち翌年度償還予定額	
(2) 翌年度繰上充用金	0
翌年度の歳入を前受けして、当期の支払に充てたもの	
<b>流動負債計</b>	<b>20,790</b>
<b>負債合計</b>	<b>181,338</b>
<b>[正味資産の部]</b>	
1. 国庫支出金	61,707
有形固定資産形成の財源として充当された国からの補助金等	
2. 県支出金	13,646
有形固定資産形成の財源として充当された県からの補助金等	
3. 一般財源等	415,234
資産形成の財源として充当された市税等	
<b>正味資産合計</b>	<b>490,587</b>
<b>負債・正味資産合計</b>	<b>671,925</b>

**[負債]**  
 資産を形成するために用いられた市債の未償還残高など、後世代の負担となるものです。  
 「固定負債」と「流動負債」に区分されます。

**[固定負債]**  
 翌年度以降も残る負債を計上します。  
 「地方債」「債務負担行為」「退職給与引当金」の3つに区分されます。  
 「地方債」は、建物建設や土地取得のための借入です。  
 「債務負担行為」は、土地開発公社による土地の先行取得など翌年度以降に支払うべき金額、保証債務などのうち支払うことが確定した金額を計上しています。  
 「退職給与引当金」は、年度末に職員全員が普通退職したと想定したときの退職金の総額を計上しています。

**[流動負債]**  
 翌年度中に支払期限等が到来して、本市が支出すべき負債です。  
 翌年度繰上充用金は、本市には該当ありません。

**[正味資産]**  
 資産と負債の差であり、これまでの世代によって負担され、後世代が実質的に引き継ぐ価値(将来において支払いや返済を要しない金額)を表しています。  
 「国庫支出金」「県支出金」「一般財源等」の3つに区分されます。

**債務負担行為に関する情報**

物件の購入等(建物の工事請負費など)	0
債務保証及び損失補償(土地開発公社)	30,000
利子補給等(補助金)	133
その他(民間施設建設費補助金など)	2,543

「債務負担行為に関する情報」とは、場合によっては支払うことになるものや、支払うことが予想される金額の上限のことです。

## 2. バランスシートの作成基準

宇都宮市のバランスシートは、以下の基準によって作成しています。

対象会計            普通会計を対象としています。

普通会計とは、他都市との比較などで使われる統計上の区分です。

宇都宮市では、一般会計と、母子寡婦福祉資金貸付事業、都市開発資金事業、鶴田第1・鶴田第2・城東・宇大東南部第1土地区画整理事業、育英事業および老人保健(一部)の特別会計によって構成されています。

基礎データ            「地方財政状況調査」(決算統計)の数値を使用しています。

「地方財政状況調査(決算統計)」とは、総務省が毎年度実施している決算に関する統計調査です。調査は昭和44年度からはじめられており、それ以前の資産や負債に関するデータは、バランスシートには反映されていません。

作成基準日            平成16年3月31日

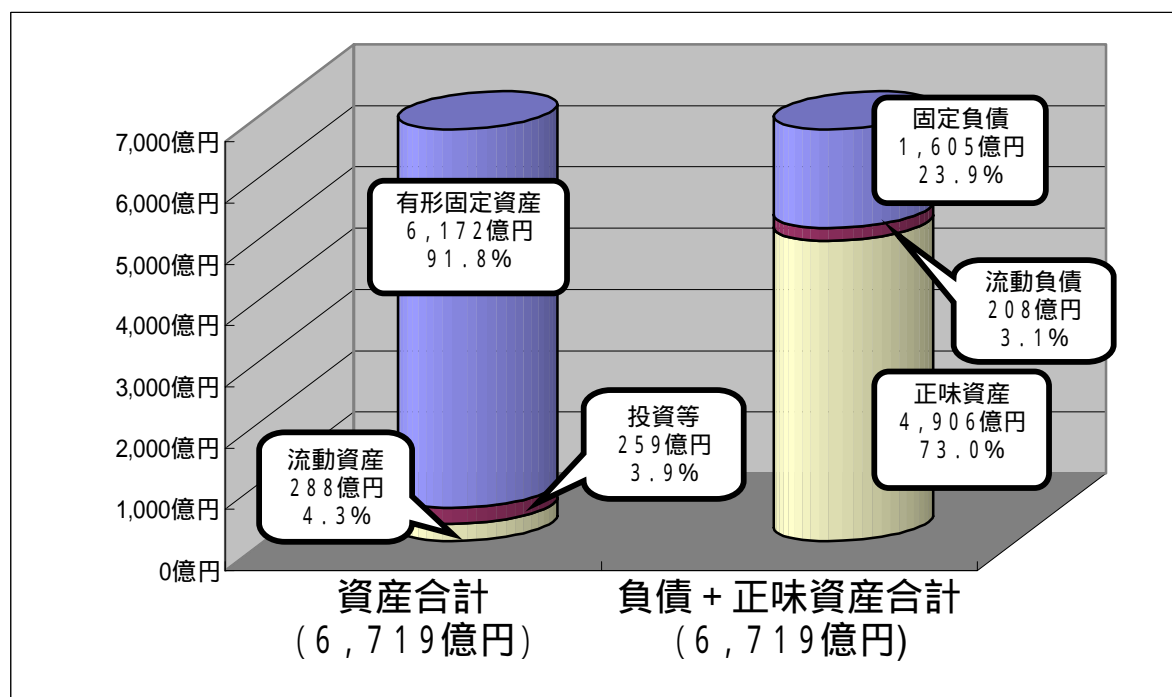
資産の評価            建物の評価額は、当時の建設費を原価とし、国で示した耐用年数に基づき減価償却した後の資産を計上しています。

土地については、取得当時の価格を原価とし、減価償却は行いません。  
その他については、建物と同様に、減価償却した後の評価額で計上しています。



### 3. バランスシートの説明

宇都宮市の平成15年度・普通会計バランスシートをグラフ化すると、下図のようになります。



#### (1) 資産

資産は、様々な行政サービスを提供するために形成した、土地や建物などの市民の財産であり、基本的には処分できないものです。

宇都宮市が形成してきた「資産」の総額は6,719億円で、内訳は、土地や建物などの「有形固定資産」が6,172億円、出資金や貸付金などの「投資等」が259億円、現金・預金などの「流動資産」が288億円となっています。「資産」のほとんどが、「有形固定資産」(91.8%)で占められています。

#### (2) 負債

負債は、資産形成の元手である借金(地方債)など、市民の負担として、将来にわたり返済していかなければならないものです。

宇都宮市の「負債」の総額は1,813億円で、内訳は、長期的に返済する「固定負債」が1,605億円、1年以内に返済を予定している「流動負債」が208億円となっています。

#### (3) 正味資産

これまでの世代によって形成され、今後返済の必要がない純粋な資産である「正味資産」の総額は4,906億円で、資産総額のおよそ4分の3(73.0%)となっています。

#### 4. 前年度バランスシートとの比較

前年度のバランスシートとの比較によって、資産・負債の状況や増減要因などを分析することができます。

宇都宮市の資産は、平成15年度末で6,719億円(前年度比145億円増)となりました。一方、負債(将来世代の負担を伴うもの)は1,813億円(前年度比32億円増)、その差である正味資産(市税等によりこれまでの世代の負担により形成されたもの)が4,906億円(前年度比113億円増)となりました。

(単位:百万円)

	借 方				増 減	貸 方				増 減	
	平成15年度末		平成14年度末			平成15年度末		平成14年度末			
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比	金額	構成比		
<b>[資産の部]</b>											
1.有形固定資産	617,180	91.8%	604,626	92.0%	12,554	160,548	23.9%	167,010	25.4%	6,462	
(うち土地)	237,036	35.3%	230,340	35.0%	6,696	121,830	18.1%	124,686	19.0%	2,856	
2.投資等	25,923	3.9%	23,532	3.6%	2,391	3,478	0.5%	6,695	1.0%	3,217	
(1)投資及び出資金	11,524	1.7%	10,211	1.6%	1,313	35,240	5.3%	35,629	5.4%	389	
(2)貸付金	1,919	0.3%	1,821	0.3%	98						
(3)基金	12,480	1.9%	11,500	1.7%	980						
3.流動資産	28,822	4.3%	29,216	4.4%	394	20,790	3.1%	11,070	1.7%	9,720	
(1)現金・預金	20,639	3.1%	20,118	3.0%	521	20,790	3.1%	11,070	1.7%	9,720	
(2)未収金	8,183	1.2%	9,098	1.4%	915						
<b>負債の部</b>											
1.固定負債											
(1)地方債											
(2)債務負担行為											
(3)退職給与引当金											
2.流動負債											
(1)翌年度償還予定額											
<b>負債合計</b>	<b>181,338</b>	<b>27.0%</b>	<b>178,080</b>	<b>27.1%</b>	<b>3,258</b>						
<b>[正味資産の部]</b>											
1.国庫支出金	61,707	9.2%	59,986	9.1%	1,721						
2.県支出金	13,646	2.0%	13,662	2.1%	16						
3.一般財源等	415,234	61.8%	405,646	61.7%	9,588						
<b>正味資産合計</b>	<b>490,587</b>	<b>73.0%</b>	<b>479,294</b>	<b>72.9%</b>	<b>11,293</b>						
<b>資産合計</b>	<b>671,925</b>	<b>100%</b>	<b>657,374</b>	<b>100%</b>	<b>14,551</b>	<b>負債・正味資産合計</b>	<b>671,925</b>	<b>100%</b>	<b>657,374</b>	<b>100%</b>	<b>14,551</b>

##### (1) 資産の状況

平成15年度バランスシートの「資産」の総額は6,719億円で、前年度と比べると145億円増えています(前年度6,574億円)。

内訳は、土地・建物などの「有形固定資産」が6,171億円(前年度6,046億円)で125億円の増、出資金、貸付金、基金(積立金)などの「投資等」が259億円(前年度235億円)で24億円の増、現金・預金などの「流動資産」は、288億円(前年度292億円)で4億円の減となっています。

「有形固定資産」の増加は、道路、河川、最終処分場などの公共施設の整備が主な要因となっています。

また、「投資等」の増加の内訳を見ると、「投資及び出資金」が水道事業及び下水道事業への出資に伴い13億円の増、「貸付金」が中小企業事業資金貸付などにより1億円の増、「基金」が雇用支援対策基金や退職手当基金などの積み立てにより10億円の増となっています。

「流動資産」の減少は、市税や貸付金などの未収金が減ったことが影響しています。

## (2) 負債の状況

平成15年度バランスシートの「負債」の総額は1,813億円で、前年度と比べると32億円増えています(前年度1,781億円)。

そのうち、長期的に返済が必要な「固定負債」は1,605億円(前年度1,670億円)で、65億円減少しました。1年以内に返済予定の「流動負債」は208億円(前年度111億円)で、97億円の増となっています。

「流動負債」の増加は、平成16年度に、地方債の返済を15年度の倍近く行うことによるものです。

また、「固定負債」の内訳を見ると、2年以上の返済期間がある「地方債」が1,218億円(前年度1,247億円)で29億円の減、翌年度以降に支払が確定している「債務負担行為」が35億円(前年度67億円)で32億円の減、市職員全員が退職したと想定したときの退職金総額である「退職給与引当金」が352億円(前年度356億円)で4億円の減となっています。

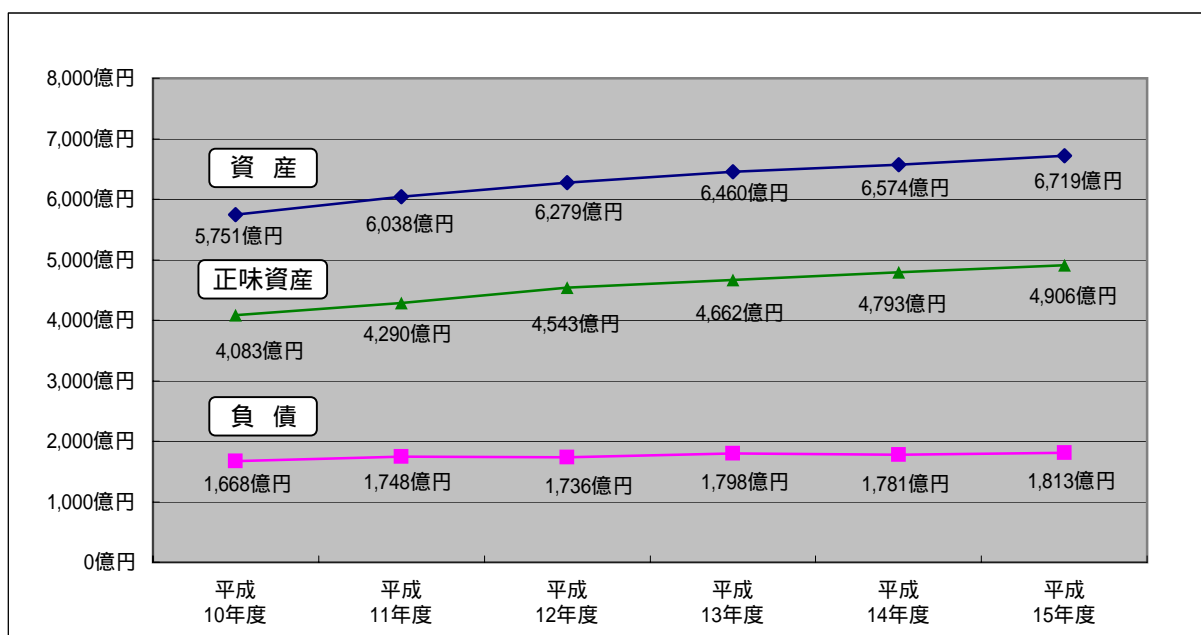
## (3) 正味資産の状況

「資産」から「負債」を差し引いた「正味資産」は、資産形成のために調達した資金のうち、将来に負担を残さない純粋な資産を表しています。

平成15年度バランスシートの「正味資産」の総額は4,906億円で、前年度と比べると113億円増えています(前年度4,793億円)。

内訳は、土地・建物の取得に充てた国・県からの補助金が合わせて753億円(前年度736億円)で、17億円の増、市税などの一般財源は、4,152億円(前年度4,056億円)で、96億円の増となっています。

### (参考) バランスシートの資産、負債、正味資産額の経年推移



宇都宮市では、平成11年度から、総務省の示した方式によりバランスシートを作成してきました(データは平成10年度から)。

上のグラフは、各年のデータの推移をあらわしたものです。

これによると、市の資産総額は毎年着実に増えており、市の借金である負債総額はおおむね横ばいで推移していることが読み取れます。

このことから、市が資産を形成していく上では、借金に頼らずに、自己資本(正味資産)によって整備を行っていることがわかります。

## 5.市民1人あたりのバランスシート

市民1人あたりのデータを見ることによって、宇都宮市の資産や負債の状況を、より身近な数値で検討することができます。

<市民1人あたりのバランスシート>

(単位:千円)

借	平成15年度末		平成14年度末		増減	貸	平成15年度末		平成14年度末		増減
	金額	構成比	金額	構成比			金額	構成比	金額	構成比	
[資産の部]						[負債の部]					
1.有形固定資産	1,354	91.8%	1,334	92.0%	20	1.固定負債	352	23.9%	369	25.4%	17
(うち土地)	520	35.3%	508	35.0%	12	(1)地方債	267	18.1%	275	19.0%	8
						(2)債務負担行為	8	0.5%	15	1.0%	7
						(3)退職給与引当金	77	5.3%	79	5.4%	2
2.投資等	57	3.9%	52	3.6%	5	2.流動負債	46	3.1%	24	1.7%	22
(1)投資及び出資金	25	1.7%	23	1.6%	2	(1)翌年度償還予定額	46	3.1%	24	1.7%	22
(2)貸付金	4	0.3%	4	0.3%	0	<b>負債合計</b>	<b>398</b>	<b>27.0%</b>	<b>393</b>	<b>27.1%</b>	<b>5</b>
(3)基金	28	1.9%	25	1.7%	3	[正味資産の部]					
3.流動資産	63	4.3%	64	4.4%	1	1.国庫支出金	135	9.2%	132	9.1%	3
(1)現金・預金	45	3.1%	44	3.0%	1	2.県支出金	30	2.0%	30	2.1%	0
(2)未収金	18	1.2%	20	1.4%	2	3.一般財源等	911	61.8%	895	61.7%	16
<b>資産合計</b>	<b>1,474</b>	<b>100%</b>	<b>1,450</b>	<b>100%</b>	<b>24</b>	<b>正味資産合計</b>	<b>1,076</b>	<b>73.0%</b>	<b>1,057</b>	<b>72.9%</b>	<b>19</b>
						<b>負債・正味資産合計</b>	<b>1,474</b>	<b>100%</b>	<b>1,450</b>	<b>100%</b>	<b>24</b>

住民基本台帳人口によって計算

- ・平成15年度末は、「平成16年3月31日現在455,845人」によって計算
- ・平成14年度末は、「平成15年3月31日現在453,226人」によって計算

「資産」は1人あたり147万4千円、前年度より2万4千円の増加で、そのうち土地や建物といった有形固定資産は、1人あたり135万4千円で、前年度より2万円増えました。

市の借金(地方債)などの「負債」は1人あたり39万8千円で前年度より5千円の増加、資産から負債を引いた純粋な資産である「正味資産」は107万6千円で、前年度より1万9千円の増加となっています。

## 6. バランスシートの比較分析

バランスシートを作成することにより、税金や国・県支出金などによって整備された土地・建物等の「資産」の構成や、将来返済しなければならない「負債」と返済を要しない「正味資産」との比率などにかかわる情報の把握が可能となります。

そこで、全国統一の分析指標により、平成15年度のバランスシートに基づいて、類似都市(人口35～55万人の10市)と本市との状況の比較を行いました。

### (1) 社会資本の後世代負担比率

土地・建物の資産取得の結果を示す有形固定資産について、その資産形成に充てられた財源のうち、負債の割合を見ることで、**将来返済しなければならない分の割合**を見ることができます。

計算式 社会資本の後世代負担比率 = 負債合計 ÷ 有形固定資産  
(将来の世代の負担)

(単位:%)

	宇都宮	横須賀	金沢	長野	岐阜	豊橋	高槻	福山	松山	大分	鹿児島
社会資本 後世代 負担比率	29.4	51.4	41.6	29.4	35.0	32.4	28.4	47.3	38.7	41.4	35.0

平成15年度末において、社会資本の後世代負担比率は29.4%で、比較市中2番目に低い団体となっており、本市においては、**将来世代への負担を極力抑えながら社会資本の形成に努めていることがわかります。**

### (2) 正味資産構成比率

「負債」と「正味資産」の合計のうち、**返済義務を負わない資産(正味資産)の割合がどのくらいあるのか**を見ることができます。  
正味資産構成比率は、財務の健全性を見るもので、高いほうが良いとされています。

計算式 正味資産構成比率 = 正味資産合計 ÷ 負債と正味資産の合計

(単位:%)

	宇都宮	横須賀	金沢	長野	岐阜	豊橋	高槻	福山	松山	大分	鹿児島
正味資産 構成比率	73.0	55.4	60.1	73.1	68.7	71.0	74.7	57.1	66.2	61.0	68.8

平成15年度末において、正味資産構成比率は73.0%で、比較市中3番目に高い団体となっており、**財務の安定性が高い**といえます。

### (3) 流動比率

この比率によって、「流動負債」(翌年度の地方債返済額)に対する現金・基金などの「流動資産」の割合が、どのくらいであるのかを見ることができます。  
流動比率は、高いことが望ましく、100%を下回っていれば不良債務が発生していることとなります。

計算式 流動比率 = 流動資産合計 ÷ 流動負債合計

(単位:%)

	宇都宮	横須賀	金沢	長野	岐阜	豊橋	高槻	福山	松山	大分	鹿児島
流動比率	138.6	119.8	58.8	203.6	128.9	195.2	101.9	104.1	206.7	136.9	132.5

平成15年度末において、流動比率は138.6%で、比較市中4番目に高い団体となっており、**本市の財政対応力は比較的高い**ことが分かります。

### (4) 固定比率

この比率を利用して、これまでの世代の負担(正味資産)によって、有形固定資産がどのくらい形成されたかを見ることができます。  
固定比率は、100%を下回っていれば自己資本(正味資産)によって資産の形成を行ってきたことを意味します。

計算式 固定比率 = 有形固定資産 ÷ 正味資産合計

(単位:%)

	宇都宮	横須賀	金沢	長野	岐阜	豊橋	高槻	福山	松山	大分	鹿児島
固定比率	125.8	156.3	159.3	125.4	130.3	126.4	119.7	158.8	132.2	154.1	129.5

平成15年度末において、固定比率は125.8%で、比較市中3番目に低い団体となっており、**社会資本の整備にあたっては、比較的自己資本(正味資産)によって形成してきた**ことがわかります。

以上のように、バランスシートにおいて類似都市との比較を行ったところ、本市は社会資本の整備率が高く、地方債の借り入れによる将来世代の負担率が低いなど、比較都市のなかでは財政運営の健全性が高い団体であるということが分かりました。

## 7. 市全体のバランスシート

前項まで、普通会計を対象としたバランスシートを作成してきましたが、更に普通会計以外の会計についても対象範囲を広げるにより、市全体の資産、負債等のストック情報を把握することができる、「市全体のバランスシート」を作成しました。

(単位:百万円)

借	市全体		普通会計		増 減	貸	市全体		普通会計		増 減
	金額	構成比	金額	構成比			金額	構成比	金額	構成比	
[資産の部]						[負債の部]					
1. 有形固定資産	937,477	92.4%	617,180	91.8%	320,297	1. 固定負債	327,198	32.2%	160,548	23.9%	166,650
						(1) 地方債	288,125	28.4%	121,830	18.1%	166,295
						(2) 債務負担行為	3,478	0.3%	3,478	0.5%	0
						(3) 引当金	35,595	3.5%	35,240	5.3%	355
2. 投資等	31,128	3.1%	25,923	3.9%	5,205	2. 流動負債	33,240	3.3%	20,790	3.1%	12,450
(1) 投資及び出資金	2,515	0.3%	11,524	1.7%	9,009	(1) 翌年度償還予定額	29,679	3.0%	20,790	3.1%	8,889
(2) 貸付金	1,919	0.2%	1,919	0.3%	0	(2) 未払金及び未払費用	3,307	0.3%	0	0.0%	3,307
(3) 基金	19,365	1.9%	12,480	1.9%	6,885	(3) その他	254	0.0%	0	0.0%	254
(4) その他	7,329	0.7%	0	0.0%	7,329						
						負債合計	360,438	35.5%	181,338	27.0%	179,100
3. 流動資産	45,753	4.5%	28,822	4.3%	16,931	[正味資産の部]	653,920	64.5%	490,587	73.0%	163,333
(1) 現金・預金	29,811	2.9%	20,639	3.1%	9,172						
(2) 未収金	15,411	1.5%	8,183	1.2%	7,228	正味資産合計	653,920	64.5%	490,587	73.0%	163,333
(3) その他	531	0.1%	0	0.0%	531						
資産合計	1,014,358	100%	671,925	100%	342,433	負債・正味資産合計	1,014,358	100%	671,925	100%	342,433

### (1) 作成基準

宇都宮市全体のバランスシートは、以下の基準によって作成しています。

対象会計 宇都宮市のすべての会計

普通会計のほか、水道事業、下水道事業、中央卸売市場事業、農業集落排水事業、駐車場事業、国民健康保険、介護保険、老人保健、競輪の各会計を対象とします。

基礎データ 「地方財政状況調査」(決算統計)のほか、「地方公営企業決算状況調査」、各会計決算書の数値を使用しています。

作成基準日 平成16年3月31日

その他 借入・貸付金など、各会計間の異動については、相殺・消去するなどの調整を行っています。

### (2) 市全体のバランスシートの説明

普通会計と市全体のバランスシートを比較すると、「資産」において普通会計の6,719億円に対し、全体が1兆144億円(およそ1.5倍)となっており、また、「負債」においては1,813億円に対し3,604億円(およそ2倍)、「正味資産」においては4,906億円に対し6,539億円(およそ1.3倍)となっています。

## 資産

資産の内訳は、平成15年度末において、土地・建物等の「有形固定資産」が9,375億円で、資産全体の92.4%を占めており、残りが出資金、貸付金、基金(積立金)、現金・預金などの「投資等」及び「流動資産」で、769億円となっています。

資産に占める有形固定資産の割合を普通会計と市全体を比較すると、普通会計の91.8%に対し、市全体のほうが92.4%となり、0.6ポイント増加しています。これは、下水道事業において、資産に占める有形固定資産の割合が高く、その影響を受けたことによるものです。

また、流動資産のうち未収金については、普通会計の82億円に国民健康保険事業の50億円などが加わり、全体で154億円が未収であることがわかります。

## 負債

負債の内訳は、平成15年度末において、地方債(2,881億円と翌年度償還予定額297億円の合計)が、3,178億円で、負債全体の88.2%を占めており、残りが引当金356億円、債務負担行為35億円などとなっています。

また、普通会計との比較において、資産がおよそ1.5倍多いのに対し、負債がおよそ2倍となっており、資産の増加分に比べ、負債の増加分が大きく上回っています。これは、水道事業や下水道事業を推進するために、地方債を借り入れていることによるものです。

### (3) 前年度市全体のバランスシートとの比較

普通会計のバランスシートと同様に、前年度のデータと比較することによって、市全体の資産・負債の増減状況や、その要因などを把握、分析することができます。

(単位:百万円)

借	方			増減	貸	方			増減		
	平成15年度末 金額	構成比	平成14年度末 金額			構成比	平成15年度末 金額	構成比		平成14年度末 金額	構成比
[資産の部]					[負債の部]						
1.有形固定資産	937,477	92.4%	921,824	92.5%	15,653	1.固定負債	327,198	32.3%	338,919	34.0%	11,721
						(1)地方債	288,125	28.4%	296,269	29.7%	8,144
						(2)債務負担行為	3,478	0.4%	6,695	0.7%	3,217
						(3)引当金	35,595	3.5%	35,955	3.6%	360
2.投資等	31,128	3.1%	26,806	2.7%	4,322	2.流動負債	33,240	3.3%	23,864	2.4%	9,376
(1)投資及び出資金	2,515	0.2%	2,515	0.3%	0	(1)翌年度償還予定額	29,679	2.9%	19,261	1.9%	10,418
(2)貸付金	1,919	0.2%	1,821	0.2%	98	(2)未払金及び未払費用	3,307	0.4%	4,471	0.5%	1,164
(3)基金	19,365	1.9%	17,970	1.8%	1,395	(3)その他	254	0.0%	132	0.0%	122
(4)その他	7,329	0.7%	4,500	0.4%	2,829						
3.流動資産	45,753	4.5%	47,492	4.8%	1,739	<b>負債合計</b>	<b>360,438</b>	<b>35.5%</b>	<b>362,783</b>	<b>36.4%</b>	<b>2,345</b>
(1)現金・預金	29,811	2.9%	30,469	3.1%	658	[正味資産の部]	653,920	64.5%	633,339	63.6%	20,581
(2)未収金	15,411	1.5%	16,495	1.7%	1,084	<b>正味資産合計</b>	<b>653,920</b>	<b>64.5%</b>	<b>633,339</b>	<b>63.6%</b>	<b>20,581</b>
(3)その他	531	0.1%	528	0.0%	3						
<b>資産合計</b>	<b>1,014,358</b>	<b>100%</b>	<b>996,122</b>	<b>100%</b>	<b>18,236</b>	<b>負債・正味資産合計</b>	<b>1,014,358</b>	<b>100%</b>	<b>996,122</b>	<b>100%</b>	<b>18,236</b>



「資産」の総額は1兆143億円で、前年度と比べると182億円増えています(前年度9,961億円)。

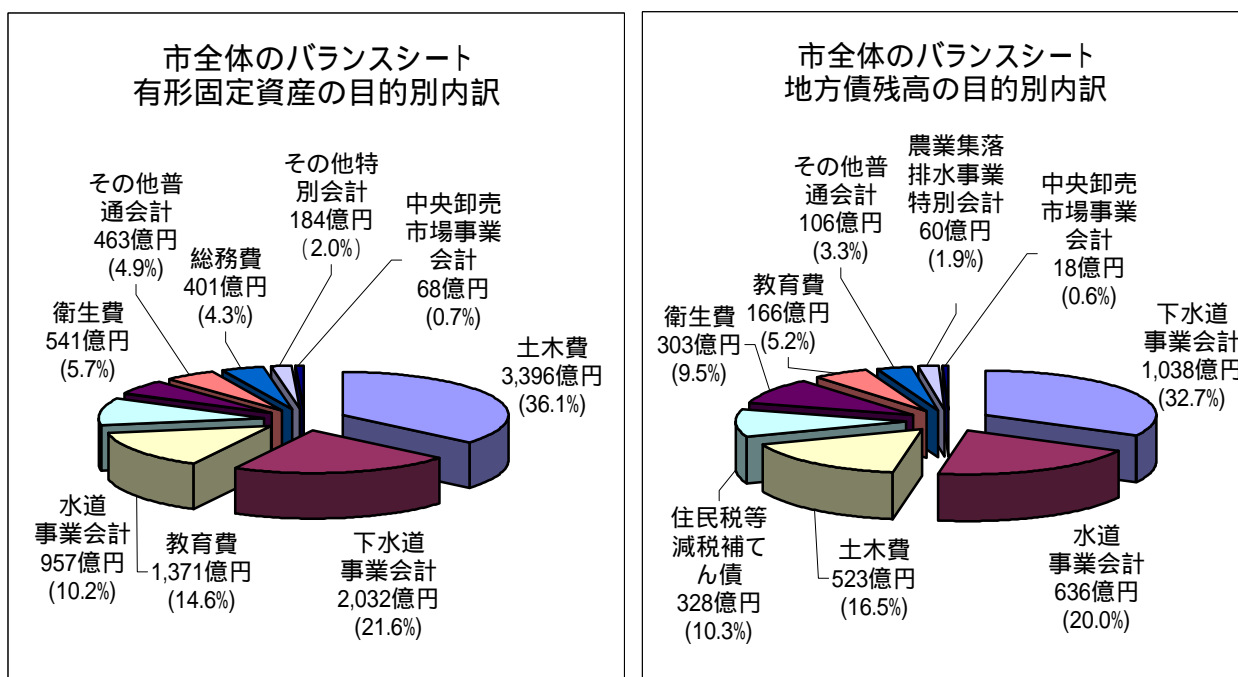
内訳は、土地・建物などの「有形固定資産」が9,374億円(前年度9,218億円)で156億円の増、出資金、貸付金、基金(積立金)などの「投資等」が311億円(前年度268億円)で43億円の増、現金・預金などの「流動資産」は、458億円(前年度475億円)で17億円の減となっています。「流動資産」の減少は、普通会計と同様に未収金が減ったことが影響しています。

「負債」の総額は3,604億円で、前年度と比べると23億円減っています(前年度3,627億円)。

このうち、長期的に返済が必要な「固定負債」は3,272億円(前年度3,389億円)で、117億円の減となりました。1年以内に返済予定の「流動負債」は332億円(前年度238億円)で、94億円の増となっています。

「資産」から「負債」を差し引いた「正味資産」の総額は6,539億円で、前年度と比べると206億円増となっています(前年度6,333億円)。

#### (4) 市全体のバランスシートにおける資産・負債の会計内訳



有形固定資産の目的別割合をみることにより、行政分野ごとの資産形成のバランスを把握することができます。

普通会計における道路や公園などの土木費が市全体のおよそ3分の1(3,396億円)を占め、次に下水道事業会計、普通会計の教育費、水道事業と続きます。

つぎに、地方債残高の目的別割合をみると、下水道、水道の両事業会計が市全体のおよそ半分を占め、次に普通会計の土木費が続きます。下水道・水道施設などの資本形成に際しては、将来世代の負担も考慮に入れ、資金調達の多くに地方債を活用していることがわかります。

# 宇都宮市の行政コスト計算書

## 1. 宇都宮市の行政コスト計算書

(行政コスト)		(単位:百万円)	(単位:%)
		平成15年度	構成比
1	(1)人件費	27,858	23.9
	(2)退職給与引当金繰入	2,897	2.5
<b>【人にかかるコスト】 計</b>		<b>30,755</b>	<b>26.4</b>
2	(1)物件費	19,110	16.4
	(2)維持補修費	2,585	2.2
	(3)減価償却費	19,234	16.5
	(4)その他	0	0.0
<b>【物にかかるコスト】 計</b>		<b>40,929</b>	<b>35.1</b>
3	(1)扶助費	18,766	16.1
	(2)補助費等	10,383	8.9
	(3)繰出金	6,123	5.2
	(4)普通建設事業費 (他団体等への補助金等)	5,131	4.4
	<b>【移転支的コスト】 計</b>	<b>40,403</b>	<b>34.6</b>
4	(1)災害復旧事業費	0	0.0
	(2)失業対策事業費	0	0.0
	(3)公債費(利子分のみ)	3,595	3.1
	(4)債務負担行為繰入	0	0.0
	(5)不納欠損額	927	0.8
<b>【その他のコスト】 計</b>		<b>4,522</b>	<b>3.9</b>
<b>行政コスト 合計</b> a		<b>116,609</b>	<b>100.0</b>

退職給与引当金繰入 ..... 引当金として15年度に新たに繰り入れた額

減価償却費 ..... 有形固定資産(土地を除く)に関して、時間の経過による価値の減少分を費用として計上した額

扶助費 ..... 生活保護や児童手当の支給、医療扶助に要する費用

補助費等 ..... 個人・団体活動で公益上望ましいものへの補助金等

繰出金 ..... 特別会計などへの繰出金

普通建設事業費 ..... 他団体の資産形成のために支出した負担金や補助金

公債費(利子分のみ) ..... 市債の利子支払額

債務負担行為繰入 ..... 債務負担行為で、債務保証又は損失補償のうち債務が確定した額

不納欠損額 ..... 未収金のうち不納欠損として処理した額

〔収入項目〕

(単位:百万円)

		平成15年度
1	使用料・手数料等 <span style="float:right">b</span>	11,782
	$b / a$ (%)	10.1
2	国庫(県)支出金 <span style="float:right">c</span>	17,060
	$c / a$ (%)	14.6
3	一般財源 <span style="float:right">d</span>	95,124
	$d / a$ (%)	81.6
	収入 $(b + c + d)$ <span style="float:right">e</span>	123,966
4	正味資産国庫(県)支出金償却額 <span style="float:right">f</span>	2,231
5	期首一般財源等	405,646
	差引 $(e - a + f)$ 一般財源等増減額	9,588
6	期末一般財源等	415,234

- 使用料・手数料等 …… バランスシートにのらない、「使用料及び手数料」、「分担金及び負担金」、「財産収入」、「寄附金」、基金の取り崩し以外の「繰入金」、貸付金元金収入以外の「諸収入」の現年調定額
- 国庫(県)支出金 …… 資産形成の財源となっている分を除いた国・県支出金の現年調定額
- 一般財源 …… 「地方税」、「地方譲与税」、「地方交付税」等一般財源の現年調定額
- 正味資産国庫(県)支出金償却額 …… 有形固定資産の減価償却に伴い、バランスシートに計上している国県支出金の償却額
- 期首一般財源等 …… 前年度バランスシート(前年度3月31日時点)の正味資産の「一般財源等」と一致
- 差引一般財源等増減額 …… 「期首一般財源等」と「期末一般財源等」の差額。バランスシートの正味資産の部「一般財源等」の前年度増減額と一致
- 期末一般財源等 …… 当年度バランスシート(今年度3月31日時点)の正味資産の「一般財源等」と一致

## 2. 行政コスト計算書作成基準

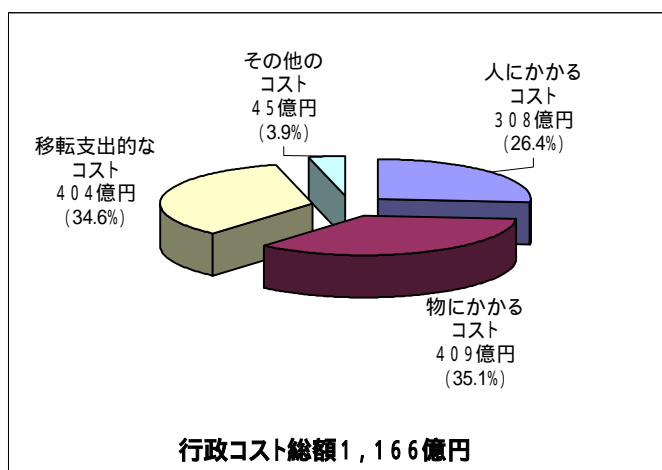
宇都宮市の行政コスト計算書は、以下の基準によって作成しています。

対象会計	バランスシートと同様に、普通会計を対象としています。
基礎データ	「地方財政状況調査」(決算統計)の数値を使用しています。
作成基準日	平成16年3月31日

## 3. 行政コスト計算書の説明

### (1) 行政コストの性質別割合

宇都宮市の平成15年度行政コスト計算書の性質別割合をグラフ化すると、下図のようになります。

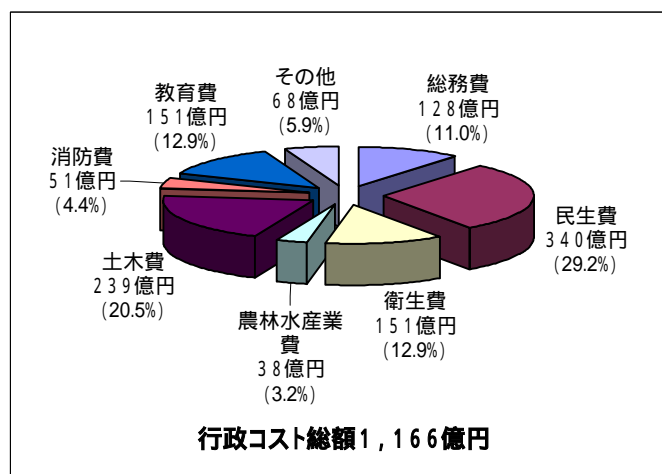


宇都宮市の行政コスト総額は、平成15年度末において1,166億円となりました。

性質別の内訳では、人件費などの「人にかかるコスト」が30.8億円(全体の26.4%)、物件費や減価償却費などの「物にかかるコスト」が40.9億円(同35.1%)、そして扶助費などの「移転支出的なコスト」が40.4億円(同34.6%)、「その他のコスト」が4.5億円(同3.9%)となっています。

### (2) 行政コストの目的別割合

宇都宮市の平成15年度行政コスト計算書の目的別割合をグラフ化すると、下図のようになります。



目的別の内訳では、民生費341億円(全体の29.2%)、土木費239億円(同20.5%)、衛生費151億円(同12.9%)、教育費151億円(同12.9%)が上位の費目であり、生活保護や児童扶養手当など扶助費の増加に伴い民生費が全体に占める比率が高くなっています。

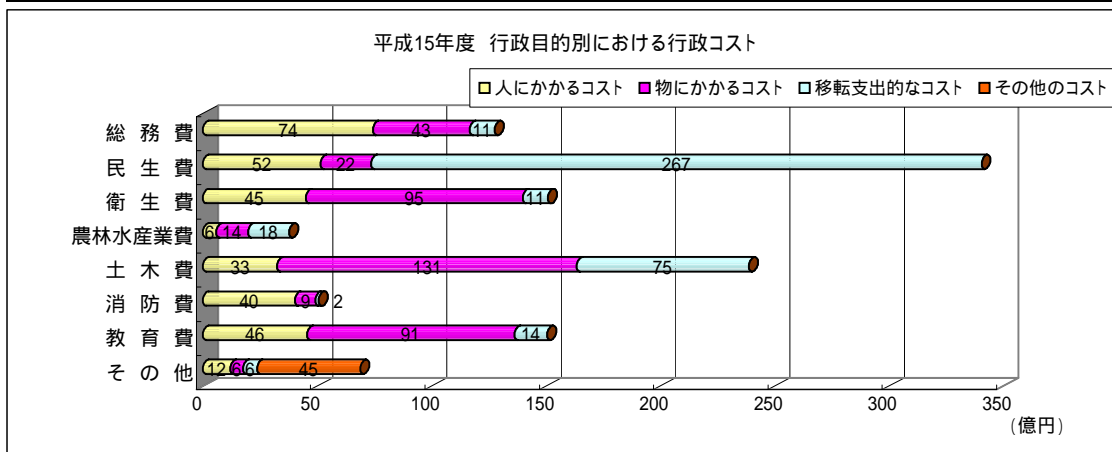
### (3) 行政目的別における行政コスト

各分野のサービスがどのようなコストで構成されているのかを見ることにより、行政の活動内容が、より詳しくわかります。

行政目的別の特徴を見ると、衛生費、土木費、教育費、労働費においては、有形固定資産を多く有していることから、物件費、維持補修費などの「物にかかるコスト」の占める割合が高く、民生費、農林水産業費、商工費では、扶助費や補助費等などの「移転支出的なコスト」の占める割合が高くなっています。また、議会費、総務費、消防費では、人件費など「人にかかるコスト」の割合が高くなっています。

(単位：百万円，%)

行政目的別	行政コスト	人にかかるコスト		物にかかるコスト		移転支出的なコスト		その他のコスト	
議会費	911	852	93.5	56	6.2	3	0.3	0	0.0
総務費	12,770	7,434	58.2	4,253	33.3	1,083	8.5	0	0.0
民生費	34,054	5,164	15.2	2,192	6.4	26,698	78.4	0	0.0
衛生費	15,096	4,506	29.8	9,504	63.0	1,086	7.2	0	0.0
労働費	345	80	23.2	212	61.4	53	15.4	0	0.0
農林水産業費	3,777	591	15.6	1,384	36.7	1,802	47.7	0	0.0
商工費	879	271	30.8	55	6.3	553	62.9	0	0.0
土木費	23,880	3,256	13.6	13,090	54.8	7,534	31.6	0	0.0
消防費	5,077	4,024	79.3	895	17.6	158	3.1	0	0.0
教育費	15,063	4,578	30.4	9,052	60.1	1,433	9.5	0	0.0
その他	4,757	0	0.0	235	4.9	0	0.0	4,522	95.1
合計	116,609	30,756	26.4	40,928	35.1	40,403	34.6	4,522	3.9



#### <主な行政コスト>

- 民生費 …… 生活保護や児童扶養手当、障害者支援費などの扶助費(183億円)や国民健康保険事業特別会計や老人保健事業特別会計等への繰出金(56億円)などにより「移転支出的なコスト」の占める割合が78.4%と高くなっています。
- 衛生費 …… ごみ処理施設の運営やごみ収集業務の委託料などの物件費(60億円)やごみ処理施設などの減価償却費(29億円)などにより「物にかかるコスト」の占める割合が63.0%と高くなっています。
- 土木費 …… 道路、公園、住宅などの減価償却費(101億円)や資産の維持補修費(15億円)などにより「物にかかるコスト」の占める割合が54.8%と高くなっています。
- 教育費 …… 小中学校の光熱水費など施設の維持管理にかかる物件費(57億円)により、「物にかかるコスト」の占める割合が60.1%となり、教育関係職員等の人件費(41億円)などにより「人にかかるコスト」の占める割合が30.4%となっています。

#### (4) 行政目的別における収入項目

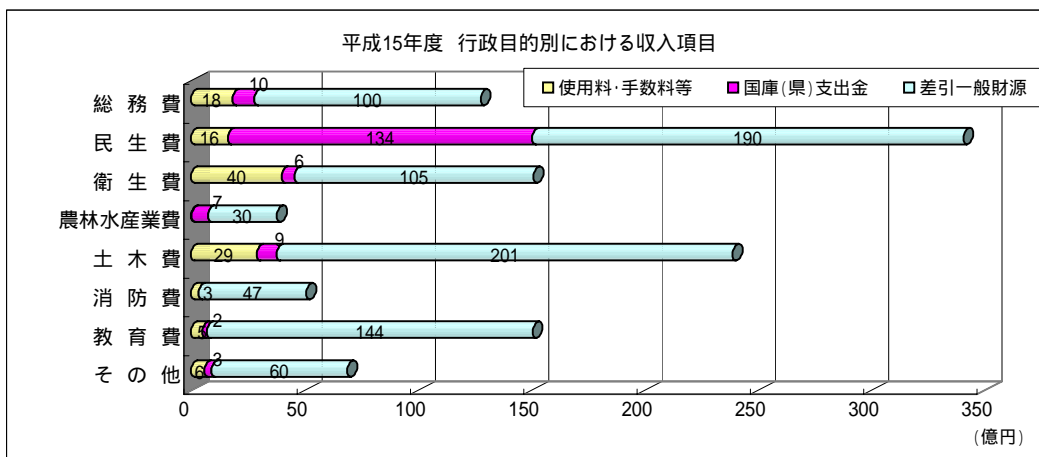
各分野の行政コストが、どのような収入でどれだけ賄われているのか、また、市税等の一般財源がどれだけその分野に投入されているのかを見ることができます。

収入項目の総額1,166億円のうち、使用料・手数料等が118億円(10.1%)、国庫(県)支出金が171億円(14.6%)、残りの877億円(75.3%)が市税等の一般財源で賄われています。

行政目的別に見てみると、総務費、衛生費、土木費では、受益者負担である使用料・手数料等の占める割合が高く、民生費、労働費、農林水産業費では、国庫(県)支出金の割合が高く、議会費、商工費、消防費、教育費においては、市税等の一般財源の割合が高くなっています。

(単位:百万円,%)

行政目的別	収入項目合計	使用料・手数料等		国庫(県)支出金		差引一般財源	
議会費	911	0	0.0			911	100.0
総務費	12,770	1,838	14.4	959	7.5	9,973	78.1
民生費	34,054	1,621	4.8	13,415	39.4	19,018	55.8
衛生費	15,096	3,988	26.4	564	3.7	10,544	69.9
労働費	345	7	2.0	265	76.8	73	21.2
農林水産業費	3,777	14	0.4	730	19.3	3,033	80.3
商工費	879	47	5.3	11	1.3	821	93.4
土木費	23,880	2,893	12.1	883	3.7	20,104	84.2
消防費	5,077	340	6.7	3	0.1	4,734	93.2
教育費	15,063	493	3.3	213	1.4	14,357	95.3
その他	4,757	541	11.4	17	0.3	4,199	88.3
合計	116,609	11,782	10.1	17,060	14.6	87,767	75.3



#### <主な収入項目>

民生費 …… 生活保護や児童の措置費負担金などで「国庫(県)支出金」が134億円であり、「国庫(県)支出金」での収入額は他の行政目的に比べて最も高くなっています。

土木費 …… 市営住宅使用料や道路占用料などの「使用料・手数料等」が29億円であり、「使用料・手数料等」での収入額は衛生費に次いで高くなっています。

衛生費 …… 夜間休日救急診療所使用料やごみ処理手数料などの「使用料・手数料等」が40億円であり、「使用料・手数料等」での収入額は他の行政目的に比べて最も高くなっています。

#### 4. 前年度行政コスト計算書との比較

##### (1) 前年度行政コスト計算書との比較(性質別)

(単位:百万円,%)

性 質 別	平成15年度		平成14年度		前年比	
	コスト	構成比	コスト	構成比	増減額	構成比
人にかかるコスト	30,755	26.4	31,059	27.2	304	0.8
物にかかるコスト	40,929	35.1	40,297	35.4	632	0.3
移転支的コスト	40,403	34.6	37,847	33.2	2,556	1.4
その他のコスト	4,522	3.9	4,776	4.2	254	0.3
合 計	116,609	100.0	113,979	100.0	2,630	-

行政コストを性質別で前年度と比較すると、金額的には、「移転支的コスト」が26億円増加、「物にかかるコスト」が6億円増加しました。特に「移転支的コスト」は、行政コスト総額の構成比率において伸びを示していますが、これは生活保護や児童扶養手当など扶助費の増加が大きく影響していることによります。一方で、「人にかかるコスト」は3億円、「その他のコスト」は2億5千万円減少しました。

##### (2) 前年度行政コスト計算書との比較(目的別)

(単位:百万円,%)

行 政 目 的 別	平成15年度		平成14年度		前年比	
	コスト	構成比	コスト	構成比	増減額	構成比
総 務 費	12,770	11.0	12,651	11.1	119	0.1
民 生 費	34,054	29.2	31,693	27.8	2,361	1.4
衛 生 費	15,096	12.9	15,210	13.3	114	0.4
農 林 水 産 業 費	3,777	3.2	3,160	2.8	617	0.4
土 木 費	23,880	20.5	23,204	20.4	676	0.1
消 防 費	5,077	4.4	5,009	4.4	68	0.0
教 育 費	15,063	12.9	15,365	13.5	302	0.6
そ の 他	6,892	5.9	7,687	6.7	795	0.8
合 計	116,609	100.0	113,979	100.0	2,630	-

行政コストを目的別で前年度と比較すると、金額的には「民生費」が24億円の増加で圧倒的に増えており、ここでも扶助費の増加がその要因としてあげられます。次いで「土木費」が7億円、「農林水産業費」が6億円の増加となりました。一方で、「教育費」は人件費の減などに伴い3億円の減少となりました。

## 5. 市民1人あたりの行政コスト計算書

バランスシートと同様に、市民1人あたりのデータを用いることで、市役所が行う行政サービスに、どのようなコストがどれだけかかっているのかを、身近に感じることができます。

(行政コスト)		(単位:円)	(収入項目)		(単位:円)
		平成15年度			平成15年度
1	(1)人件費	61,114	1	使用料・手数料等	b 25,846
	(2)退職給与引当金繰入	6,354		b / a	10.1%
<b>【人にかかるコスト】 計</b>		67,468	2	国庫(県)支出金	c 37,426
2	(1)物件費	41,923		c / a	14.6%
	(2)維持補修費	5,670	3	一般財源	d 208,675
	(3)減価償却費	42,193		d / a	81.6%
	(4)その他	0		収入 (b + c + d)	e 271,947
<b>【物にかかるコスト】 計</b>		89,786			
3	(1)扶助費	41,169	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;"> <b>住民基本台帳人口</b>                      455,845人                      平成16年3月31日現在                 </div>		
	(2)補助費等	22,778			
	(3)繰出金	13,432			
	(4)普通建設事業費 (他団体等への補助金等)	11,256			
	<b>【移転支出的なコスト】 計</b>	88,635			
4	(1)災害復旧事業費	0			
	(2)失業対策事業費	0			
	(3)公債費(利子分のみ)	7,886			
	(4)債務負担行為繰入	0			
	(5)不納欠損額	2,033			
<b>【その他のコスト】 計</b>		9,919			
<b>行政コスト 合計 a</b>		255,808			

市民1人あたりの行政コスト計算書を見ると、1年間の行政サービスに対し、およそ25万6千円のコストがかかっていることがわかります。

その内訳は、「人にかかるコスト」が6万7千円、「物にかかるコスト」が9万円、「移転支出的なコスト」が8万9千円、「その他のコスト」が1万円となっています。



## 6. 行政コスト計算書の比較分析

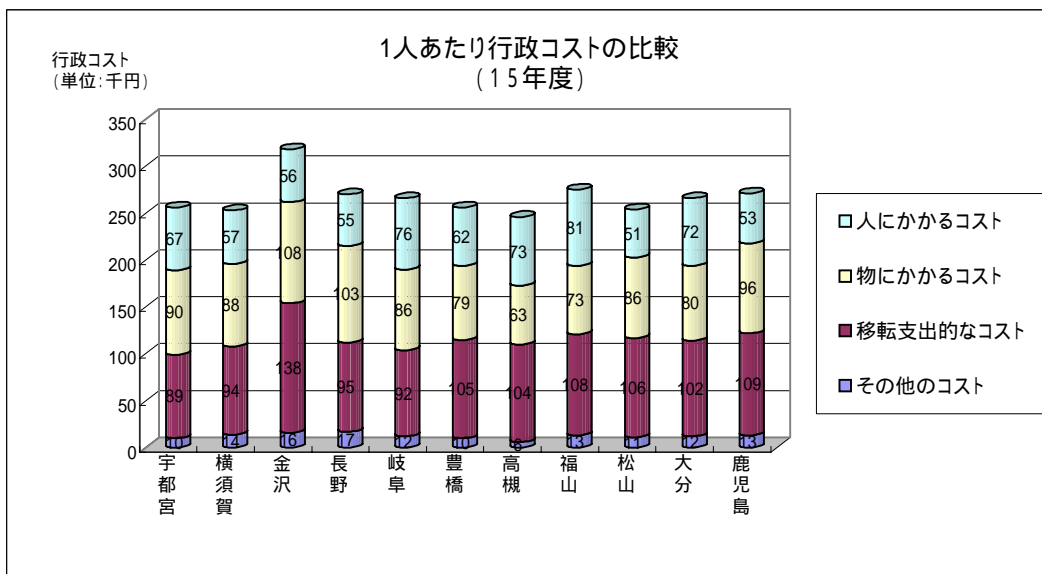
行政コスト計算書を作成することにより、資産の形成につながらない行政活動(人的サービスや給付サービスなど)にどのくらいの費用(コスト)が伴い、また、どのような財源でその費用をまかなっているのかを把握することが可能になります。

そこで、全国統一の分析指標等により、平成15年度末で行政コスト計算書を作成している類似都市(人口35～55万人の10市)と本市の状況を、市民1人あたりのコストと収入で比較を行いました。

### (1) 行政コスト

(単位:千円)

	宇都宮	横須賀	金沢	長野	岐阜	豊橋	高槻	福山	松山	大分	鹿児島
人にかかるコスト	67	57	56	55	76	62	73	81	51	72	53
物にかかるコスト	90	88	108	103	86	79	63	73	86	80	96
移転支的的なコスト	89	94	138	95	92	105	104	108	106	102	109
その他のコスト	10	14	16	17	12	10	6	13	11	12	13
行政コスト総額	256	253	318	270	266	256	246	275	254	266	271



他市との比較のなかで宇都宮市の1人あたりの行政コスト計算書をみると、「人にかかるコスト」・「物にかかるコスト」が比較11市の中では高い水準となっていますが、「移転支的コスト」は比較市の中で1番目、「その他のコスト」は比較市の中で2番目に低くなっており、**行政コスト全体では、比較市の中で4番目に低い団体**となっています。

(2) 収入項目

(単位:千円)

	宇都宮	横須賀	金沢	長野	岐阜	豊橋	高槻	福山	松山	大分	鹿児島
使用料・手数料等	26	19	22	25	17	15	14	16	10	16	17
国庫(県)支出金	37	31	40	33	38	32	40	41	45	42	52
一般財源	209	201	248	224	211	203	192	215	188	195	204
収入総額	272	251	310	282	266	250	246	272	243	253	273

行政コストをまかなう資金となる収入項目について、1人あたりの金額を他市と比較すると、「使用料・手数料等」での収入が2万6千円で比較市の中で1番多くなっています。また「国庫(県)支出金」での収入が3万7千円で11市の中で8番目、「一般財源」でも収入は20万9千円で5番目に多く、**収入全体は27万2千円で、比較市の中で4番目に多い団体**となっています。

以上のことから、行政コスト計算書における本市の特徴として、まず「人にかかるコスト」・「物にかかるコスト」が他都市より高いことがあげられます。これらの経費については、事務事業の見直しや実施手法の見直しにより効率化が図れるかどうかを検討する必要があるといえます。

また、収入においては「使用料・手数料等」での収入が多く、行政サービスの受益者がその財源をまかなっている割合の高いことが分かります。一方で、市税などの「一般財源」での収入は平均的となっています。

## ・施設ごとのバランスシート・行政コスト計算書(モデル)

### (1) モデル施設の選定にあたって

#### モデル施設

文化会館, 美術館, ろまんちっく村

#### 選定のポイント

施設の選定にあたっては以下の3点を重視しました。

- ・ 年齢や性別に関係なく, 広く市民の方々に利用されている施設である
- ・ 利用する方から料金をいただいている施設である
- ・ 市民生活に密着しており, 行っている事業内容が明確な, 親近感のある施設である

### (2) 作成にあたって

#### 作成の方法

##### 総務省方式

「宇都宮市のバランスシート・行政コスト計算書」と同じ方式で作成しました。

#### 作成に使用した資料や数値

- ・ 宇都宮市のバランスシート・行政コスト計算書
- ・ 施設の管理を行っている財団法人の決算書
- ・ 宇都宮市の決算書

#### 作成のポイント

##### < バランスシート >

- ・ 財団法人の決算書にあるバランスシート(貸借対照表)に基づき作成しました。
- ・ 「退職給与引当金」については, 市が派遣している職員分を追加しました。
- ・ 美術館については, 所有している美術品などを減価償却せずに, 購入時の価格で, 資産に追加しました。また, 市が所有している「美術品等収集基金(高額な美術品を購入するための預貯金と美術品)」も資産に追加しました。
- ・ 美術館については, 建設資金として利用した未返済の市債(借金)があるので, 負債として追加しました。

##### < 行政コスト計算書 >

- ・ 「市に入ってくるお金(利用料など)」と「財団に入ってくるお金のうち市から受領するお金を除いた分」を【収入】とすることにしました。市から受領したお金を除くのは, 入ってくるお金や出ていくお金が, 財団と市で重複しないようにするためです。
- ・ 「退職給与引当金繰入」は, バランスシートと同様に算出しました。
- ・ 【行政コスト(かかったお金)】から【収入(入ってきたお金)】を除いたお金を, 市が支払っているお金として考えました。

(3) 施設ごとのバランスシート, 行政コスト計算書の記載事項

< バランスシート >

借方		貸方	
資産		負債	
有形固定資産	・土地や建物の価格 など	固定負債	・働いている人全員が退職すると仮定した場合に支払うことになるお金 ・2年目以降に返済する予定のお金 など
その他の固定資産	・事業を安定的に行うために貯めているお金 ・働いている人が退職するときに支払うために積み立てているお金 ・美術品 など	流動負債	・1年以内に返済する予定のお金 など
流動資産	・日頃の支払いに備え, 手もとに持っているお金 ・受け取っていないお金のうち, これから1年以内に受け取る予定のお金 など	正味資産	
		・これまでに支払いが済んでいるお金 < 正味資産 = 資産 - 負債 >	

< 行政コスト計算書 >

行政コスト	
人にかかるコスト	・施設で働く人に支払ったお金(給料など) ・退職に備えて積み立てているお金の増減 など
物にかかるコスト	・古くなったことで下がった建物の価値(減少分) ・施設の修理に使ったお金 ・施設の掃除や警備をお願いするときに使ったお金 など
その他のコスト	・財団や株式会社が支払った税金 ・事業を行うために積み立てているお金の増減 ・年度内に返した市債(借金)の利息 など
収入	
入場料・使用料など	・施設を利用する人が支払ったお金で, 市に入ってきたお金 など
その他	・財団の持っている預貯金の利子 ・施設の中でお店を開いている人が支払ったお金(電気代など) など
市負担分	
・市が支払っているお金(皆さんの税金で支払っているお金) < 市負担分 = コストの合計 - 収入 >	

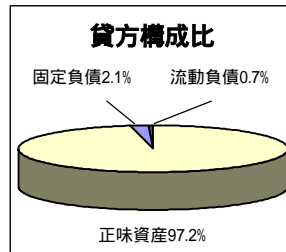
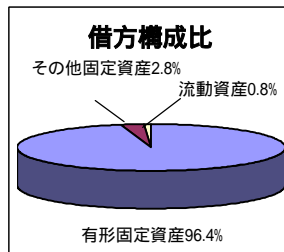
**施設名** 文化会館

施設の目的	
市制80周年記念施設として、市民の芸術の振興及び市民福祉の増進に資するため建設され、昭和55年に開館しました。	
管理主体	職員の状況
財団法人宇都宮市文化会館管理公社	市派遣職員 1名 職員 27名
総事業費	
5,693,193千円(内土地1,276,738千円) 昭和52～54年の継続事業	嘱託職員 3名 臨時職員 1名

**バランスシート**

(単位:千円)

借方		貸方	
資産		負債	
有形固定資産 A	5,331,842	固定負債 E	117,942
その他固定資産 B	157,772	流動負債 F	39,492
流動資産 C	42,986		
		正味資産 G	
		資産 - 負債	5,375,166
合計 D	5,532,600	合計 H	5,532,600



**社会資本の後世代負担比率**

社会資本の後世代負担比率 (E + F) / A	3.0%
(参考)	
宇都宮市の社会資本の後世代負担比率	29.4%

**正味資産構成比率**

正味資産構成比率 G / H	97.2%
(参考)	
宇都宮市の正味資産構成比率	73.0%

**行政コスト**

(単位:千円)

コスト項目	当該年度	構成比	前年度	構成比	増減
人にかかるコスト	235,336	36.6%	241,745	37.6%	6,409
物にかかるコスト	391,757	61.0%	385,892	60.1%	5,865
その他のコスト	15,248	2.4%	14,708	2.3%	540
行政コスト合計 I	642,341	100.0%	642,345	100.0%	4
歳入項目					
入場料・使用料	46,735	7.3%	40,765	6.3%	5,970
使用料	110,509	17.2%	114,051	17.8%	3,542
その他	33,088	5.2%	21,891	3.4%	11,197
計 J	190,332	29.6%	176,707	27.5%	13,625
市負担分 I - J	452,009	70.4%	465,638	72.5%	13,629

**利用の状況**

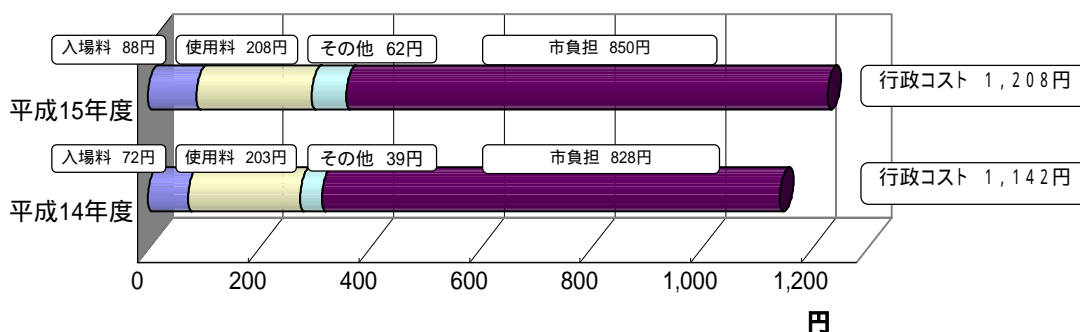
(単位:人)

項目	H13	H14	H15
利用者数	512,080	562,369	531,718
開館日	305日	305日	303日
大ホール利用率	76.1%	82.0%	77.9%

**コスト指標**

年間利用者 K	利用者1人あたりのコスト I / K
531,718人	1,208円

**利用者1人あたりのコスト負担状況**



**全体評価**

平成17年度に設立25周年を迎える当会館は、財政面においてコスト、歳入の両面において安定した推移となっています。人件費において削減効果があったものの、補助費等が増加し、行政コストは横ばいでの推移となっています。一方、昨年度比で利用者数が減少し、利用者1人あたりのコストは増加しています。歳入は基金事業における収入が増加し、市負担分が減少しました。

**利用向上に向けた取り組み状況**

顧客志向を徹底する為、イベント終了後に集客実績とアンケート結果を分析し、より良い公演・催事を目指しています。「快適な環境とサービスの提供」を旨とし、施設の有効活用と接遇向上に努め、より多くの方々のご利用をお待ちしております。

# 施設名： 美術館

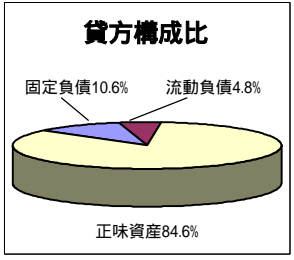
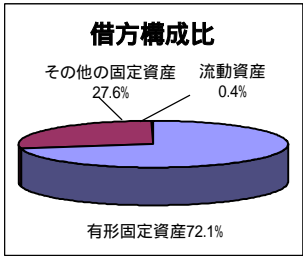
**施設の目的**  
市制100周年記念施設として、公園施設であるうつのみや文化の森の整備に併せ、自然と融和した新しい市民文化の創造と交流の拠点として建設され、平成9年に開館しました。

管理主体		職員の状況	
財団法人うつのみや文化の森		市派遣職員 3名	職員 14名
総事業費		嘱託職員 2名	臨時職員 22名
16,728,605千円(内土地3,524,777千円) 平成5～8年の継続事業			

## バランスシート

(単位:千円)

借方		貸方	
資産		負債	
有形固定資産 A	13,168,476	固定負債 E	1,935,791
その他の固定資産 B	5,378,276	流動負債 F	882,852
流動資産 C	66,568		
		正味資産 G	
		資産 - 負債	15,794,677
合計 D	18,613,320	合計 H	18,613,320



## 社会資本の後世代負担比率

社会資本の後世代負担比率 (E + F) / A	21.4%
(参考)	
宇都宮市の社会資本の後世代負担比率	29.4%

## 正味資産構成比率

正味資産構成比率 G / H	84.9%
(参考)	
宇都宮市の正味資産構成比率	73.0%

## 行政コスト

(単位:千円)

コスト項目	当該年度	構成比	前年度	構成比	増減
人にかかるコスト	145,159	16.5%	196,567	20.5%	51,408
物にかかるコスト	628,883	71.6%	636,440	66.4%	7,557
その他のコスト	104,453	11.9%	126,105	13.1%	21,652
行政コスト合計 I	878,495	100.0%	959,112	100.0%	80,617
歳入項目					
美術館使用料	37,361	4.3%	26,155	2.7%	11,206
図録等販売収入	5,510	0.6%	2,836	0.3%	2,674
その他	3,675	0.4%	3,832	0.4%	157
歳入項目合計 J	46,546	5.3%	32,823	3.4%	13,723
市負担分 I - J	831,949	94.7%	926,289	96.6%	94,340

## 利用の状況

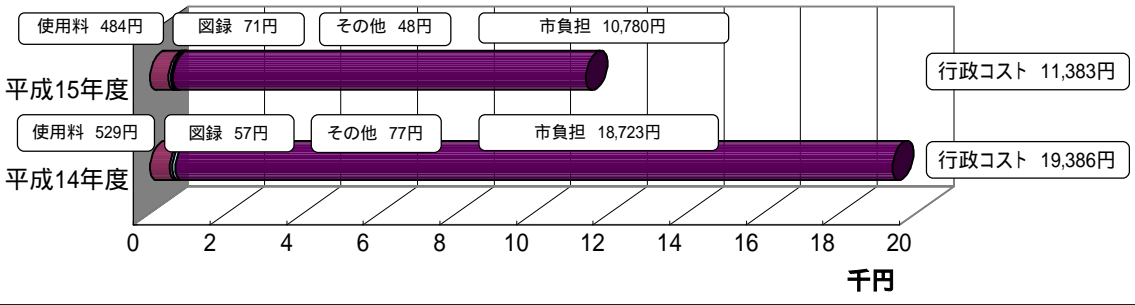
(単位:人)

項目	H13	H14	H15
観覧者	54,211	49,475	77,176
うち有料観覧者数	37,992	30,529	43,083
うち無料観覧者数	16,219	18,946	34,093
開館日数	307日	296日	299日

## コスト指標

年間利用者 K	利用者1人あたりのコスト I / K
77,176人	11,383円

## 利用者1人あたりのコスト負担状況



## 全体評価

行政コストは、すべての項目において前年度対比で減少しました。特に人件費において51百万円、市債利子において22百万円を削減することが出来ました。市債利子の減少は、借入返済が着実に進んでいることによるものです。

一方、観覧者数は全体で前年度対比156%の伸びとなり、1人あたりのコストは改善しています。無料観覧もある為、使用料収入の大幅な伸びに直結していませんが、今後、リピーター等の増加が期待されます。

## 利用向上に向けた取り組み状況

市民ニーズを的確に捉えた、魅力ある企画展を実施するとともに、積極的にPRを行うことで集客力を高め収益の向上を図っていきます。

また、教育普及事業(各種講座、ワークショップ等)にも注力し、将来的な利用向上にもつなげていきます。

# 施設名： ろまんちっく村

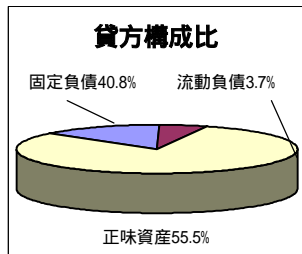
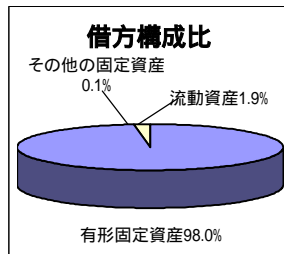
**施設の目的**  
市制100周年記念事業の一環として、農林業振興の拠点づくり、都市住民の農林業体験の場の提供、豊かな緑や自然とのふれあいの場の提供などを目的に整備され、平成8年に開園しました。

管理主体		職員の状況	
株式会社 ろまんちっく村		市派遣職員 3名	職員 24名
総事業費		契約社員 8名	
15,281,610千円(内土地4,141,017千円)	平成2～8年の継続事業	パート・アルバイト・嘱託員 78名	

## バランスシート

(単位:千円)

借方		貸方	
資産		負債	
有形固定資産 A	11,507,240	固定負債 E	1,659,853
その他の固定資産 B	8,003	流動負債 F	652,501
流動資産 C	222,461		
		正味資産 G	
		資産 - 負債	9,425,350
合計 D	11,737,704	合計 H	11,737,704



## 社会資本の後世代負担比率

社会資本の後世代負担比率 (E + F) / A	20.1%
(参考)	
宇都宮市の社会資本の後世代負担比率	29.4%

## 正味資産構成比率

正味資産構成比率 G / H	80.3%
(参考)	
宇都宮市の正味資産構成比率	73.0%

## 行政コスト

(単位:千円)

コスト項目	当該年度	構成比	前年度	構成比	増減
人にかかるコスト	284,163	14.4%	295,417	14.6%	11,254
物にかかるコスト	1,595,691	81.0%	1,627,376	80.3%	31,685
その他のコスト	90,532	4.6%	103,730	5.1%	13,198
行政コスト合計 I	1,970,386	100%	2,026,523	100%	56,137
歳入項目					
施設利用料収入	243,292	12.3%	240,530	11.9%	2,762
飲食・物品販売収入	850,768	43.2%	895,379	44.2%	44,611
その他	53,263	2.7%	55,737	2.7%	2,474
歳入項目合計 J	1,147,323	58.2%	1,191,646	58.8%	44,323
市負担分 I - J	823,063	41.8%	834,877	41.2%	11,814

## 利用の状況

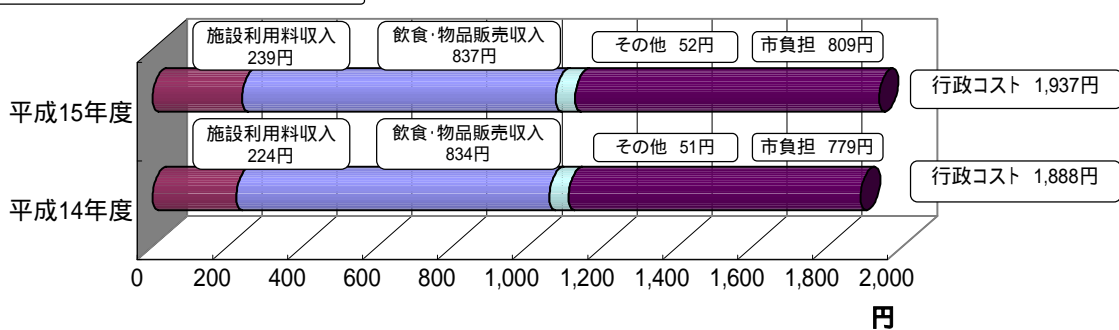
(単位:人)

項目	H13	H14	H15
来園者	1,019,226	1,073,385	1,017,040
フラワードーム利用者	55,667	50,792	47,990
クア施設利用者	102,967	83,712	94,286
開園日数	348日	350日	349日

## コスト指標

年間利用者 K	利用者1人あたりのコスト I / K
1,017,040人	1,937円

## 利用者1人あたりのコスト負担状況



## 全体評価

当公園の来園者数は、ここ数年、百万人程度で推移しています。歳入項目につきましては、クア施設利用者数が前年度より増加したことから、施設利用料収入が増加しました。

コスト項目については、前年度とほぼ同様の構成比となっています。コスト項目の大部分は、園内で販売している飲食・物品の仕入れにかかる費用及び、建物などの減価償却費となっています。

社会資本の後世負担比率は20%程度で、宇都宮市全体の比率よりも低いことから、比較的后世代への負担が軽いことが分かります。

## 利用向上に向けた取り組み状況

当公園での「食と農」「自然」を楽しんでいただくためのおもてなしと、「ご家族との」「公園スタッフとの」「ふれあいを大切にする環境づくりに努めています。

「公園での憩い」「温泉での癒し」「食べて飲む楽しみ」を満喫いただけるよう、これからも取り組んで参ります。





主な施設の資産状況

参考資料1

昭和44年度から平成15年度までに取得した有形固定資産(土地取得費は除く)の主な施設の状況は、次のとおりです。

普通会計

(単位 百万円)

区分	施設名	完成年度	取得価格	減価償却累計額	残存価格
総務費	市役所庁舎	昭和62年度	15,573	5,926	9,647
	文化会館	昭和54年度	4,416	2,281	2,135
	姿川地区市民センター	平成15年度	711	15	696
民生費	竹林保育園	平成15年度	309	10	299
	総合福祉センター	平成2年度	1,824	1,039	785
	茂原健康交流センター	平成13年度	1,177	168	1,009
衛生費	クリーンパーク茂原	平成12年度	28,938	6,058	22,880
	保健所	平成9年度	1,717	494	1,223
	斎場	昭和53年度 平成3年度	844	657	187
労働費	東勤労青少年ホーム	昭和54年度	184	184	0
農林水産業費	農林公園(ろまんちっく村)	平成8年度	11,140	4,204	6,936
土木費	平成記念子どものもり公園	平成8年度	5,325	1,222	4,103
	御本丸公園清明館	平成2年度	173	61	112
	八幡山公園展望塔	昭和55年度	330	198	132
	山王市営住宅	平成7～16年度	6,406	1,088	5,318
消防費	消防本部庁舎	昭和52年度	686	372	314
	西消防署	平成13年度	924	57	867
教育費	清原中学校校舎	平成3・10年度	1,872	293	1,579
	美術館	平成8年度	11,784	2,141	9,643
	スケートセンター	平成6年度	1,879	390	1,489
	図書館	昭和55年度	1,175	567	608
	東図書館	平成3年度	5,650	1,487	4,163
	教育センター	平成14年度	1,820	75	1,745
	市体育館	昭和54年度	1,599	813	786

企業・事業会計

(単位 百万円)

区分	施設名	完成年度	取得価格	減価償却累計額	残存価格
水道	上下水道局(本町)	昭和34年度	247	157	90
	松田新田浄水場	昭和53年度	962	472	490
	高間木取水場	昭和53年度	376	172	204
下水道	川田処理場	昭和53年度	2,674	72	2,602
	清原処理場	平成12年度	2,716	237	2,479
競輪	競輪会館	昭和60年度	508	386	122
	第1センタースタンド	昭和61年度	2,641	1,901	740
市場	中央卸売市場	-	6,050	2,587	3,463

市全体のバランスシート(詳細版)

	普通会計	公営企業会計(法非適)		公営企業会計(法適)		
		A 農業集落排水駐車場水	道	下水道	市	場
<b>[資産の部]</b>						
1. 有形固定資産						
(1) 総務費	40,116,471					
(2) 民生費	10,355,652					
(3) 衛生費	54,058,947					
(4) 労働費	295,035					
(5) 農林水産費	16,565,183					
(6) 商工費	698,814					
(7) 土木費	339,579,012					
(8) 消防費	9,177,113					
(9) 教育費	137,115,427					
(10) その他	9,218,201					
合 計	617,179,855	14,923,852	161,891	95,703,579	203,197,591	6,777,805
2. 投資等						
(1) 投資及び出資金	11,523,617				1,000	
(2) 貸付費	1,918,729					
(3) 基金	12,480,589					
(4) 退職手当組合積立金						
(5) その他				3,652,409	3,676,292	
合 計	25,922,935	0	0	3,652,409	3,677,292	0
3. 流動資産						
(1) 現金・預金	20,639,214	13,149	7,937	7,362,066	1,056,148	486,863
(2) 未収金	8,183,473	67,766	0	658,716	1,385,939	26,934
(3) その他				68,664	402,200	60,050
合 計	28,822,687	80,915	7,937	8,089,446	2,844,287	573,847
4. 繰延勘定						
資 産 合 計	671,925,477	15,004,767	169,828	107,445,434	209,719,170	7,351,652
<b>[負債の部]</b>						
1. 固定負債				63,577,032	103,819,803	1,790,125
(1) 市債	121,829,574	5,800,976		60,155,477	98,729,392	1,609,051
(2) 債務負担行為	3,478,082					
(3) 引当金	35,240,380			355,013		
(うち 退職給与引当金)	35,240,280			305,013		
(その他の引当金)				50,000		
(4) 他会計借入金						
(5) その他						
合 計	160,548,036	5,800,976	0	60,510,490	98,729,392	1,609,051
2. 流動負債						
(1) 市債等翌年度償還予定額	20,789,990	195,758		3,421,555	5,090,411	181,073
(2) 未払金及び未払費用				1,137,687	2,058,743	110,743
(3) 翌年度繰上充用金						
(4) その他				126,875	16,749	110,629
合 計	20,789,990	195,758	0	4,686,117	7,165,903	402,445
負 債 合 計	181,338,026	5,996,734	0	65,196,607	105,895,295	2,011,496
<b>[正味資産の部]</b>						
正 味 資 産 合 計	490,587,451	9,008,033	169,828	42,248,827	103,823,875	5,340,156
負 債 ・ 正 味 資 産 合 計	671,925,477	15,004,767	169,828	107,445,434	209,719,170	7,351,652

(単位:千円)

(小計) B	国民健康保険 事業会計	介護保険 事業会計	老人保健 事業会計	競輪 事業会計	(小計) C	(単純合計) A+B+C D	連結消去 (調整数値) E	(連結) D-E	(連結) 対前年度増減額
320,764,718				3,349,368	3,349,368	941,293,941	3,816,964	937,476,977	15,652,868
1,000				0	0	11,524,617	9,009,282	2,515,335	0
0				0	0	1,918,729		1,918,729	97,547
0	1,920,937	1,600,635		3,363,082	6,884,654	19,365,243		19,365,243	1,395,131
0				0	0	0		0	0
7,328,701				0	0	7,328,701		7,328,701	2,829,089
7,329,701	1,920,937	1,600,635	0	3,363,082	6,884,654	40,137,290	9,009,282	31,128,008	4,321,767
8,926,163	132,229	110,347	1	2,770	245,347	29,810,724		29,810,724	658,395
2,139,355	4,977,954	110,874	0	0	5,088,828	15,411,656		15,411,656	1,083,115
530,914				0	0	530,914		530,914	2,685
11,596,432	5,110,183	221,221	1	2,770	5,334,175	45,753,294	0	45,753,294	1,738,825
0				0	0	0		0	0
339,690,851	7,031,120	1,821,856	1	6,715,220	15,568,197	1,027,184,525	12,826,246	1,014,358,279	18,235,810
166,294,896				0	0	288,124,470		288,124,470	8,144,499
0				0	0	3,478,082		3,478,082	3,216,444
355,013				0	0	35,595,393		35,595,393	359,949
305,013				0	0	35,545,293		35,545,293	369,839
50,000				0	0	50,000		50,000	9,790
0				0	0	0		0	0
0				0	0	0		0	0
166,649,909	0	0	0	0	0	327,197,945	0	327,197,945	11,720,892
8,888,797				0	0	29,678,787		29,678,787	10,417,539
3,307,173				0	0	3,307,173		3,307,173	1,163,821
0				0	0	0		0	0
254,253				0	0	254,253		254,253	121,767
12,450,223	0	0	0	0	0	33,240,213	0	33,240,213	9,375,485
179,100,132	0	0	0	0	0	360,438,158	0	360,438,158	2,345,407
160,590,719	7,031,120	1,821,856	1	6,715,220	15,568,197	666,746,367	12,826,246	653,920,121	20,581,217
339,690,851	7,031,120	1,821,856	1	6,715,220	15,568,197	1,027,184,525	12,826,246	1,014,358,279	18,235,810

# 宇都宮市の行政コスト計算書(詳細版)

(行政コスト)

		平成14年度	平成15年度	増減額	(構成比率)	議会費	総務費	民生費
1	(1)人件費	28,353,269	27,858,337	494,932	23.9	772,160	6,733,979	4,677,359
	(2)退職給与引当金繰入	2,705,842	2,896,649	190,807	2.5	80,287	700,184	486,342
	<b>【人にかかるコスト】 計</b>	<b>31,059,111</b>	<b>30,754,986</b>	<b>304,125</b>	<b>26.4</b>	<b>852,447</b>	<b>7,434,163</b>	<b>5,163,701</b>
2	(1)物件費	19,011,569	19,110,451	98,882	16.4	55,764	3,253,257	1,679,512
	(2)維持補修費	2,494,997	2,584,679	89,682	2.2	0	31,832	18,679
	(3)減価償却費	18,791,119	19,233,510	442,391	16.5		967,601	494,184
	<b>【物にかかるコスト】 計</b>	<b>40,297,685</b>	<b>40,928,640</b>	<b>630,955</b>	<b>35.1</b>	<b>55,764</b>	<b>4,252,690</b>	<b>2,192,375</b>
3	(1)扶助費	16,763,587	18,766,467	2,002,880	16.1			18,305,256
	(2)補助費等	11,004,073	10,383,157	620,916	8.9	3,107	1,032,144	1,381,121
	(3)繰出金	5,318,419	6,122,963	804,544	5.3	0	0	5,646,726
	(4)普通建設事業費 (他団体等への補助金等)	4,760,697	5,130,869	370,172	4.4	0	51,374	1,364,663
	<b>【移転支出的なコスト】 計</b>	<b>37,846,776</b>	<b>40,403,456</b>	<b>2,556,680</b>	<b>34.6</b>	<b>3,107</b>	<b>1,083,518</b>	<b>26,697,766</b>
4	(1)災害復旧事業費	17,682	0	17,682	0.0			
	(2)失業対策事業費	0	0	0	0.0			
	(3)公債費(利子分のみ)	3,890,422	3,595,015	295,407	3.1			
	(4)債務負担行為繰入	0	0	0	0.0	0	0	0
	(5)不納欠損額	867,806	926,698	58,892	0.8			
	<b>【その他のコスト】 計</b>	<b>4,775,910</b>	<b>4,521,713</b>	<b>254,197</b>	<b>3.9</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
	<b>行政コスト 合計 a</b>	<b>113,979,482</b>	<b>116,608,795</b>	<b>2,629,313</b>	<b>100.0</b>	<b>911,318</b>	<b>12,770,371</b>	<b>34,053,842</b>
	(構成比率 %)			0		0.8	11.0	29.2
(収入項目)								
1	使用料・手数料等 b	10,297,837	11,781,829	1,483,992		0	1,838,445	1,621,189
	b / a %	9.0	10.1	1.1		0.0	15.6	13.8
2	国庫(県)支出金 c	14,411,503	17,060,382	2,648,879			959,272	13,414,551
	c / a %	12.6	14.6	2.0			5.6	78.6
3	一般財源 d	100,392,645	95,123,627	5,269,018				
	d / a %	88.1	81.6	6.5				
	収入 (b + c + d) e	125,101,985	123,965,837	1,136,148				
4	正味資産国庫(県)支出金償却額 f	2,154,129	2,231,531	77,402				
5	期首一般財源等	392,369,336	405,645,968	13,276,632				
	差引 (e - a + f)							
	一般財源等増減額	13,276,632	9,588,574	3,688,058				
6	期末一般財源等	405,645,968	415,234,542	9,588,574				

「使用料・手数料等」... バランスシート上で経理されない「使用料・手数料」、「分担金及び負担金」、「財産収入」、「寄附金」、基金の取り崩し以外の「繰入金」、貸付金元金収入以外の「諸収入」について、現年調定額を計上

「一般財源」..... 「地方税」、「地方譲与税」、「利子割交付金」、「地方消費税交付金」、「特別地方消費税交付金」、「自動車取得税交付金」、「地方特例交付金」、「地方交付税」、「交通安全対策特別交付金」、「国有提供施設等所在市町村助成交付金」等の現年調定額を計上

参考資料3

(単位:千円,%)

衛生費	労働費	農林水産業費	商工費	土木費	消防費	教育費	災害復旧費	公債費	諸支出金	不納欠損額
4,081,159	72,182	534,824	245,459	2,949,069	3,645,053	4,147,093			0	
424,350	7,505	55,610	25,522	306,638	379,005	431,206			0	
4,505,509	79,687	590,434	270,981	3,255,707	4,024,058	4,578,299			0	
5,984,471	194,803	376,798	31,272	1,445,104	393,577	5,695,893			0	
653,001	789	28,930	725	1,516,985	16,953	316,785				
2,866,737	16,496	978,650	22,880	10,127,985	484,392	3,039,657			234,928	
9,504,209	212,088	1,384,378	54,877	13,090,074	894,922	9,052,335			234,928	
288,156						173,055				
521,746	52,799	189,984	553,428	5,233,198	156,239	1,259,391				
0	0	476,210	0	27	0	0	0	0	0	
276,014	0	1,135,863	0	2,300,955	2,000	0	0			
1,085,916	52,799	1,802,057	553,428	7,534,180	158,239	1,432,446	0		0	
							0			
	0									
0	0	0	0	0	0	0	0	3,595,015		
										926,698
0	0	0	0	0	0	0	0	3,595,015	0	926,698
15,095,634	344,574	3,776,869	879,286	23,879,961	5,077,219	15,063,080	0	3,595,015	234,928	926,698
12.9	0.3	3.2	0.8	20.5	4.4	12.9	0.0	3.1	0.2	0.8
3,987,838	6,931	13,991	46,738	2,892,769	340,145	493,178	0	540,603	0	
33.8	0.1	0.1	0.4	24.6	2.9	4.2	0.0	4.6	0.0	
564,003	265,381	730,106	11,099	883,452	2,500	212,650	0	17,368	0	
3.3	1.6	4.3	0.1	5.2	0.0	1.2	0.0	0.1	0.0	